

【施設状況】

グループ名称	長野市芸術館								
指定管理者名	一般財団法人長野市文化芸術振興財団					法人番号	2100005011344		
所管課	主	150500	文化芸術課	副					
構成施設	15056	長野市芸術館							
施設分類	02	施設貸出1型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	メインホール1,292席(小楽屋×2、中楽屋×5、大楽屋×2)、リサイタルホール293席(小楽屋×1、中楽屋×2)、アクトスペース220席(中楽屋×2)、展示サロン、バンド練習室×3、音楽練習室×2、演劇練習室×2、リハーサル室、アトリエ、ミーティングルーム、情報ライブラリー・チケットセンター								
施設設置目的	文化芸術活動の場を提供すること等により、創造的で多様な文化芸術活動を促進し、もって文化力あふれるまちづくりに資する。								
基本方針等	「育む・楽しむ・創る・つなぐ」の4つの役割のもと、長野市芸術館が目指す基本方針 ・市民が日常的に多様な文化芸術に出会う機会の創出 ・子どもたちを始めとするすべての世代が良質な舞台芸術に触れ、豊かな心を育む機会の創出 ・市民自らが「長野らしさ」を見出し、育む機会の創出 ・市民が芸術館に集い、出会い、心を通わせる、多様な交流機会の創出								
主な実施事業	【貸館業務等】 メインホール、リサイタルホール、アクトスペース、リハーサル室、各種練習室等の貸館業務、チケット販売、広報事業等 【市指定事業】 ■公演事業22事業、40公演を企画(うち14公演は新型コロナウイルス感染拡大により中止又は延期) ■通年・その他事業 長野市芸術館ジュニア合唱団の運営、シニア演劇アカデミー、お届け芸術館、オープンハウスDAY、ランチ・タイム・コンサート、市役所ロビー・コンサート、子供育成総合事業、Everly訪問ミニ・コンサート 他								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般財団法人長野市文化芸術振興財団			指定回数	2 回	
指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日	5年	管理運営開始日	平成27年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
		メインホール	人	93,975	114,990	89,644	27,667	31%	3
		リサイクルホール	人	16,077	20,946	24,088	7,811	32%	
		アクトスペース	人	12,124	16,682	15,416	8,646	56%	
		練習室等	人	47,811	26,729	65,075	17,870	27%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月12日から5月末まで全館休館とした。また、客席の定員制限や主催公演等の一部を開催自粛としたため利用が減少した。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・芸術館の利用許可に関する業務 ・芸術館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・文化芸術に関する公演等の企画及び実施に関する業務 ・施設、附属設備及び物品の維持管理に関する業務 ・利用料金の収受に関する業務			新型コロナウイルス感染症による未実施及び追加事業(未実施) ・令和2年4月12日から5月末まで全館休館 ・主催事業8事業(14公演)を中止又は延期(追加) ・無料動画配信事業(うちで芸術館ムービー)36件				
サービス維持・向上の取組み(広報等)	■NCACチケット会員数 24,219人(前年22,938人) ■Facebookフォロワー数 2,447人(前年2,291人) ■Twitterフォロワー数 427人(前年239人) ■ホームページ閲覧数 470,798回(前年755,186回)								

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	3
	(2) 調査、会議等の内容 ・新規貸館利用者へのアンケートを実施 ・主催公演来場者へのアンケートを実施	
(3) 調査、会議等の結果 アンケートの指摘事項は、館の運営に反映している。		
利用者評価 利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 新規貸館利用者アンケート結果 ・使いやすい空間で、スタッフが協力的であった。 ・ホールの響きが安定してる。 ・市内の子どもの団体等が利用する場合に割引がある。	
	(2) 苦情・改善等の要望事項 新規貸館利用者アンケート結果 ・楽屋とメインホールを移動するとき、階段の上り下りが大変だった。 ・レッスン場所としては利用料が高い。	
	≪対応措置≫ ・令和3年6月からステージを格安で利用できるプラン「長野市芸術館ステージ体感プラン」を実施している。 3つのホールを自由に利用できるプランの他、世界三大ピアノのひとつであるスタインウェイピアノや音響反射板をセットにしたプランを提供している。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	46,100,000	利用料金	18,807,104	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	345,464,000	指定管理料	261,464,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料	206,619	行政財産目的外使用料	206,008
	販売収入等	54,678,000	販売収入等	33,313,400		貸付料		貸付料	
	その他収入	35,005,000	その他収入	47,268,107		その他	2,000,000	その他	
						光熱水費負担金	26,029,036	光熱水費負担金	23,302,982
						臨時交付金	18,885,090	利益分配金	7,969,000
	計	481,247,000	計	360,852,611		計	47,120,745	計	31,477,990
支出	人件費	159,334,000	人件費	122,625,216	歳出	指定管理料	261,464,000	指定管理料	285,801,000
	設備管理費	132,611,000	設備管理費	121,172,721		委託料		委託料	
	備品購入費	8,490,000	備品購入費	8,468,062		需用費	25,792,126	需用費	23,082,201
	修繕費	4,050,000	修繕費	879,779		役務費		役務費	76,235
	光熱水費		光熱水費			使用料・賃借料	949,220	使用料・賃借料	430,526
	事業費	120,202,000	事業費	60,455,242		修繕費		修繕費	
	事務経費	56,489,000	事務経費	47,388,411		工事請負費	1,215,500	工事請負費	3,157,000
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	1,733,546
	その他	71,000	その他			その他	9,875	その他	57,680
						応援事業助成金	21,080,000		
	計	481,247,000	計	360,989,431		計	310,510,721	計	314,338,188
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		-136,820	差引	-263,389,976		-282,860,198	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									34.0%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input type="checkbox"/>	2
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 職員数28名 常勤 館長1名(1名)、職員18名(16名)、嘱託・パート9名(9名) ※計画より2名不足		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	2
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	2
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	2
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	2
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	2

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	4	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価	
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3	
協定内容・指定管理者提案		追加された内容、未実施の内容及びその理由
・高校生の技能向上や市内音楽等活動団体とプロオーケストラとの共演など、市内の文化芸術団体や文化施設等と連携する。 ・マスコミ等との共同イベントの開催や病院や学校等へのアウトリーチプログラム、インターンシップの受入など、マスコミや市内公民館・福祉施設、病院、まちづくり団体や商店街、企業等とも協力して地域の暮らし向上や賑わいづくりに寄与する。 ・地元雇用、地元事業者の活用に努める。また、舞台芸術等の専門職員との役割分担を明確にした上で、積極的にアウトソーシングを行う。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	6	
事業収支	3	12	
管理運営全般	2	4	
危機管理体制	4	16	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	【管理運営全般】 ハローワーク等を活用して職員採用の募集を行ったが、一年を通して予定した人員を確保できなかったため、評価を2とした。 【危機管理体制】 新型コロナウイルス感染症対策では、芸術館独自の管理運営マニュアルをいち早く整備し、職員一丸となって対応するなど、安心安全な管理運営に努めたため、評価を4とした。
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	・特定のジャンルに偏ることなく、多種多様な公演等を企画することで幅広い世代のファン獲得が必要 ・新型コロナウイルス感染症による「新しい生活様式」に適應したイベントの在り方や利用者ニーズを踏まえた環境整備	・開館5周年記念に向けて、親子による演劇体験講座や創作ワークショップなど、子どもから大人まで参加できるプログラムを企画。また、市内作家によるアート・グループ展や芸術館の舞台を気軽に体感できる新たなプランを企画した。 ・舞台技術スタッフ派遣や清掃業務委託等の管理経費の見直しを行い、経費削減に努めた。 ・無料動画配信事業「おうちで芸術館ムービー(YouTube)」を実施した。	・市民参加型事業については、子どもから大人まで幅広い世代を対象とした企画内容であったが、主催公演については、事業計画書で提案があったように、幅広い年代層をカバーできる多種多様なジャンルの公演等を企画実施してもらいたい。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	次年度の取組として要望する事項(指定管理者提案) ・貸館利用者に対する利用後のアンケート調査の実施 ・セルフモニタリング(指定管理者が自ら行う監視・確認業務)の実施
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【新型コロナウイルス対策】

・サーマルカメラや座席カバー、消毒用品等を早急に用意し、利用の際のチェックリストの提出を義務付けるなど、5月の緊急事態宣言解除後の営業再開時より市民が安心して来場できる環境を整えました。一部備品については貸館利用者に無償で貸し出すことで、当館での感染防止対策を利用者と指定管理者が協力して実施しました。
 ・市が策定した割引に関する基準に基づき、8月7日以降のホール利用における施設利用料、附属設備利用料及び冷暖房費について4分の3割引しました。ラジオ等を用いて広く広報した結果、割引期間においては、例年並みの稼働率を達成しました。

【主催公演事業】

・席数の制限や来場者カードの記入など、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、6月から無料公演、8月から有料公演を再開し、それ以降は概ね計画通り実施しました。特にイベント開催制限緩和と同日(6月19日)に実施した「ランチタイム・ピアノ・コンサート」は、感染防止対策の手法をよく協議した上で開催し、各種報道や他館からの問合せも多く、新型コロナウイルス禍での公演見本として多くの反響がありました。
 ・緊急事態宣言発令時においては、市民が家で文化芸術に親しむことができるよう、公式YouTubeチャンネルを用いた「おうちで芸術館」を新たに企画し、無料でアーティストの演奏が楽しめる動画を配信しました。アーティストの選定は、市内の実演家や公演中止となった事業に出演予定だったアーティストとし、動画作成には謝礼も支払うことで発表機会を失ったアーティスト支援の役割も果たしました。それ以外にもライブ配信や加藤昌則氏の講座無料動画など、オンライン事業を積極的に実施しました。
 ・普及啓発事業として、市内小学校や公民館へのアウトリーチ事業を継続して実施しました。休校期間中の児童センターや令和元年東日本台風の被災地へのアウトリーチについて当初の計画に加えて実施するなど、音楽による癒しや安らぎを届けました。

② 業務の効率化に対する取組み

・緊急事態宣言発令時にはテレワークを導入するなど、柔軟に対応しました。
 ・休館期間中の設備に関する委託(清掃・警備・舞台サポート)については、実績に合わせて委託料を変更し、経費の削減に努めました。
 ・部署ごとの連携や事業方針等の検討・決定のため、各担当責任者と管理職による責任者会議をこれまでの不定期開催ではなく、定期的(月2回程度)に実施し、様々な意見を取り入れながら業務を行いました。

③ その他

・文化庁が新たに実施した感染防止対策やオンライン配信に係る助成金や、長野市による施設利用料等の割引額に応じた「ながの文化芸術応援事業助成金」を積極的に活用し、自主財源の確保に努めました。
 ・令和元年東日本台風の影響により、年間協賛パートナーの減を見込んでいましたが、多くの企業(73社)から協賛をいただき、予算を上回る協賛金を獲得することができました。新型コロナウイルスにより今後も減少が見込まれますが、積極的な募集を継続します。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・開館から5年が経過し、設備等の耐用年数の終了が近づいています。計画的な改修・更新に向けた準備が必要です。
 ・引き続き市民のニーズを調査しながら、多くの市民に足を運んでいただける事業展開を図ります。
 ・新型コロナウイルス禍の影響が長引く中、上質な文化芸術に触れていただく機会を提供しつつ、より安心して楽しんでいただけるよう、感染防止対策の徹底を図ります。

(3) 総合評価 評価基準
 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

・感染防止対策のための席数制限等の影響もあり、利用者数は大きく減少したものの、割引期間中は例年並み～例年以上の稼働となるなど、新型コロナウイルス禍における運営として良好だったと考えます。
 ・新型コロナウイルス禍の中でしたが、予算を上回る助成金や協賛金の獲得により損益は若干のマイナスとなり、おおよそ計画どおりの運営だったと考えます。

② 次年度以降の取組み

・開館5周年を記念した事業を年間を通じて開催し、市民に5周年を広く認知していただくとともに、市民と一緒に盛り上げる事業を展開します。
 ・予約の入らなかったホールの有効活用と市民による文化芸術活動の支援のため、予約を締め切った後に通常より格安でホールを利用できる「ステージ体感プラン」を新たに実施します。
 ・不足していた人員について、令和3年4月1日付けで新たに3名(内2名は新卒)を雇用しました。OJTにより経験を重ね、事務局の体制強化を図ります、